

蝶の如し

ちょうのごとし

中村壺太郎・中村隼人
舞踊と座談会

一 素踊り『正札附根元草摺』

二 座談会

三 『藤娘』

四 『石橋』

中村隼人
中村壺太郎

中村隼人
中村壺太郎

中村隼人
中村壺太郎

中村隼人
中村壺太郎

2025年 11月24日(月・振休)

●料金 全席指定 6,000円(税込) ※未就学児入場不可

●チケットぴあ [Pコード 536-587] ●ローソンチケット [Lコード 82327]

大濠公園能楽堂

(福岡市中央区大濠公園1-5)

一回目 12:00開演 (11:30開場)

二回目 15:00開演 (14:30開場)

一般発売 8月25日(月)

●主催：読売新聞社
●後援：福岡市
●制作：D-T 株式会社

お問い合わせ

「蝶の如し」
鹿児島・福岡公演事務局
TEL. 092-725-3846
(平日11時～18時)

蝶の如し

中村孝太郎・中村隼人
～舞踊と座談会～

素踊り

正札附根元草摺

曾我十郎と五郎の曾我兄弟の軌跡を描いた『曾我物語』を素材とした荒事の魅力が詰まった歌舞伎舞踊です。五郎が兄・十郎を救おうとする場面で、力強い女性・小林妹舞鶴が草摺をつかんで引き止める様子が描かれ、当時の風俗も巧みに取り入れられています。華やかな雰囲気を楽しめる代表的な舞踊です。

藤娘

藤の精が娘の姿になり、恋する女心を踊ります。移り気な男心を名所「近江八景」になぞらえ、恋心を艶やかに表現するうちにはる酔いとなると、一転して賑やかな手踊りを見せます。やがて日が暮れ、藤の精は姿を消します。

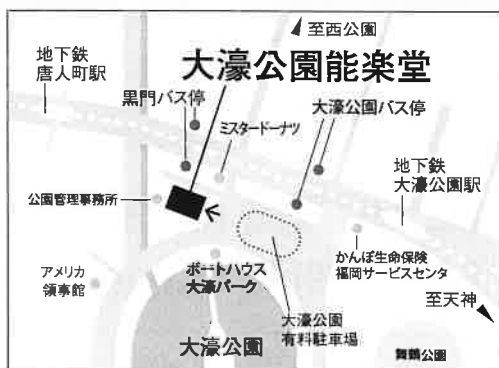
石橋

獅子はライオンに由来する霊獣で、中国の清涼山に棲むとされ、仏教では文殊菩薩の乗り物です。この伝説に基づき、能の『石橋』をはじめとする獅子物が発展し、歌舞伎にも多くの舞踊が生まれました。舞踊の後半、獅子が勇壮に毛を振る「狂い」の場面は圧巻です。

会場

大濠公園能楽堂

(福岡市中央区大濠公園1-5)



- 市営地下鉄 空港線：大濠公園駅3番出口(階段)、6番出口(エレベーター) 徒歩約7分
- 西鉄バス：大濠公園バス停・黒門バス停より 徒歩約5分

チケットのお求め

一般発売 8月25日(月)

- チケットぴあ [Pコード 536-587]
<https://t.pia.jp>
- ローソンチケット [Lコード 82327]
<https://l-tike.com/>

お問い合わせ

「蝶の如し」

鹿児島・福岡公演事務局

TEL. 092-725-3846 (平日11時～18時)

諸事情により記載内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。